



UCI公認国際自転車ロードレース

14th TOUR OF JAPAN

2010.5/16(Sun) ~ 23(Sun)

ツアー・オブ・ジャパン組織委員会
(事務局：財団法人 日本自転車普及協会)

TOJオフィシャルホームページ
<http://www.toj.co.jp>

UCI公認国際自転車ロードレース

14th TOUR OF JAPAN

2010.5/16(Sun) ~ 23(Sun)

報告書



KEIRIN



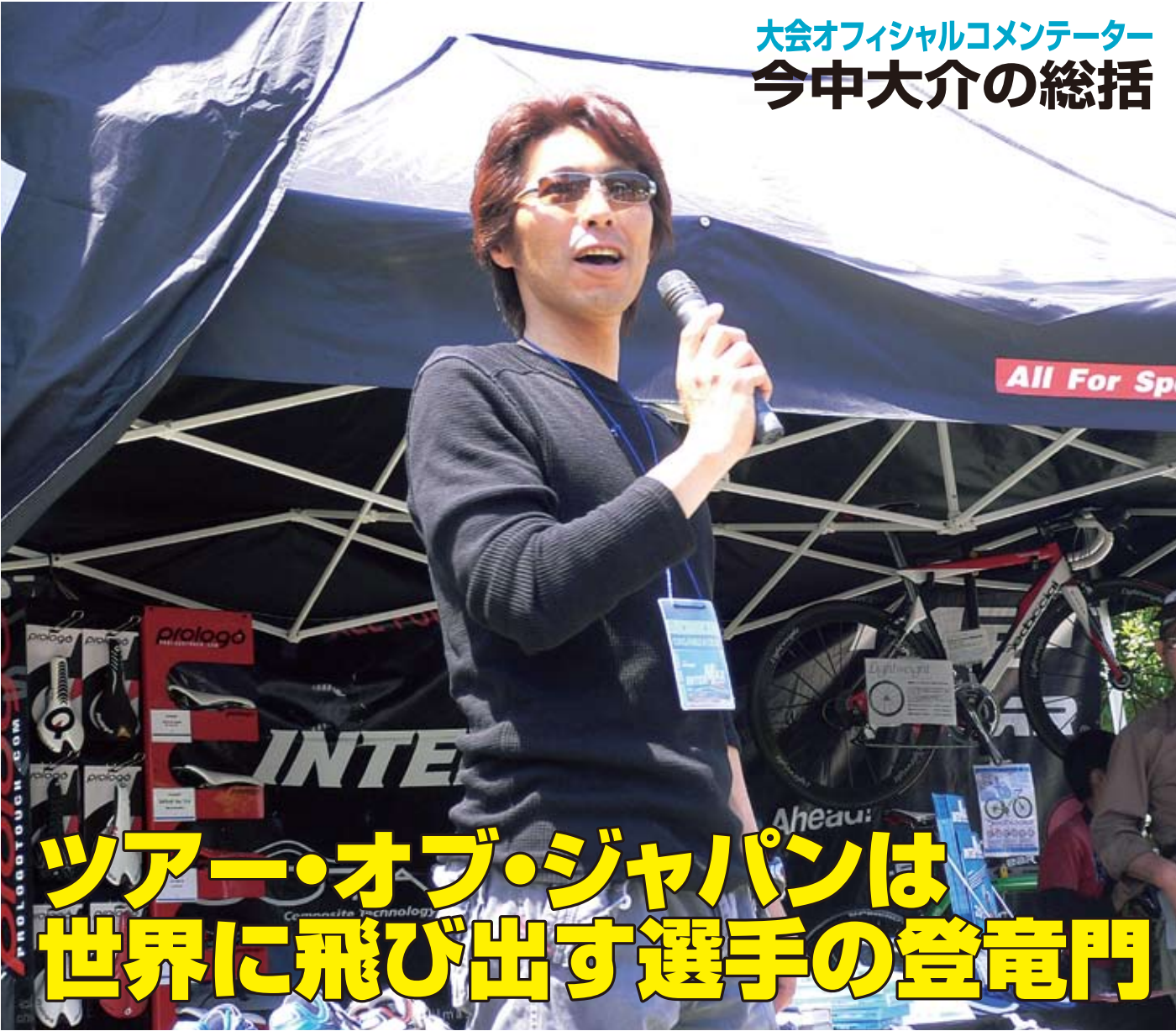
この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。
<http://ringring-keirin.jp>

目次／CONTENTS	
■目次・大会日程・実施概要・大会役員・開催地イラスト	1
■今中大介の総括	2
■チームリスト（海外）	3
■チームリスト（国内）	4
■第1ステージ【堺】 競技結果	5
■第2ステージ【奈良】 競技結果	7
■第3ステージ【美濃】 競技結果	9
■第4ステージ【南信州】 競技結果	11
■第5ステージ【富士山】 競技結果	13
■第6ステージ【伊豆】 競技結果	15
■第7ステージ【東京】 競技結果	17
■リザルト	19・20
■広報ツール	21
■パブリシティ（テレビ）	22
■パブリシティ（新聞・雑誌）	23
■スポンサーメリット	28・29・30

大会日程／Race Schedules			
5月16日(日) May 16 (Sun.)	堺ステージ SAKAI stage	13:30スタート Start at 13:30	2.65km
5月17日(月) May 17 (Mon.)	奈良ステージ NARA stage	10:15スタート Start at 10:15	121.2km
5月18日(火) May 18 (Tue.)	美濃ステージ MINO stage	9:15スタート Start at 9:15	160.7km
5月19日(水) May 19 (Wed.)	南信州ステージ MINAMI-SHINSHU stage	8:45スタート Start at 8:45	148.0km
5月20日(木) May 20 (Thu.)	移動日 Transfer		
5月21日(金) May 21 (Fri.)	富士山ステージ FUJISAN stage	10:00スタート Start at 10:00	11.4km
5月22日(土) May 22 (Sat.)	伊豆ステージ IZU stage	9:00スタート Start at 9:00	97.6km
5月23日(日) May 23 (Sun.)	東京ステージ TOKYO stage	11:00スタート Start at 11:00	112.7km
総距離 Total Distances			654.25km

大会実施概要／Outline Of The Race	
名 称	UCI公認国際自転車ロードレース 〈14th TOUR OF JAPAN〉
主 催	自転車月間推進協議会／朝日新聞社／日刊スポーツ新聞社
主 管	TOUR OF JAPAN組織委員会（事務局：財日本自転車普及協会）
競技主管	財日本自転車競技連盟
後 援	内閣府／総務省／文部科学省／経済産業省／国土交通省 環境省／東京都／財JKA
協 力	[堺 ステージ] 堺市 [奈 良ステージ] 奈良県／奈良市／山添村／(独)水資源機構木津川 ダム総合管理所／東大寺 [美 濃ステージ] 岐阜県／美濃市 [南信州ステージ] 飯田市／飯田観光協会 [富士山ステージ] 小山町（静岡県駿東郡） [伊 豆ステージ] 伊豆市／(財)日本サイクルスポーツセンター [東 京ステージ] 東京港埠頭(株)
特別協賛	三菱電機 SPEED FEEL 日本トナー株式会社
協 賛	富士重工(株)／芙蓉総合リース(株)／(株)アルミネ／東京海上日動火災保険(株)／ (株)バールイズミ／THULE／ヤマハ発動機(株)／SBAA／(株)マトリックス／ 東京サンエス(株)／(株)シマノ／(株)日直商会／アメアスポーツジャパン(株)／ 富士通フロンテック(株)／(株)NIPPO／パナソニックサイクルテック(株)／ 一般財団法人奈良県ビジターズビューロー／(株)深谷産業／ JANIS・(株)長野県協同電算／プリズトンサイクル(株)／日本バナナ輸入組合／ (株)みずほ銀行／近畿日本ツーリスト(株)

大会役員／Officials				
【名誉会長】	秋山耿太郎			
【会長】	阿部毅一郎			
【副会長】	島野 喜三	町田 智子	阿部 忠壽	
【監事】	小林 昭			
【委員長】	渋谷 良二			
【副委員長】	森 聡	田野倉正文	岡田 行雄	土屋 一彦
【委員】	新井 茂	植田 好視	大倉美恵子	川口 雄
	小西浩一郎	佐々木 直	佐藤 成美	谷口 俊二
	玉城 一夫	中澤 見山	野口 實	福田 悦裕
	堀江洋一郎	松村 正之	吉池 彰	諸星 利雄
	山崎 隆明	山田 準		



09年のツール・ド・フランスで存在感を見せつけた新城幸也や別府史之など、日本でも世界に通用する選手が育ってきていることをとてもうれしく感じているが、彼らに続いて世界で活躍する選手が名乗りをあげるためにも、このツアー・オブ・ジャパンはとても大切なレースだ。

2010年のツアー・オブ・ジャパンはある意味でベテランの活躍が目立ったかもしれないが、その背中を見て成長するはずの若手選手も多かった。たとえば東京大学の学生レーサー西園良

太(22=大学選抜ジャパン)だ。独自のトレーニング理論を構築し、自らの練習量と実績を解析して実力を伸ばした選手が、プロ選手を押しつけて総合11位に入ったのには驚いた。

いろいろなきっかけを足がかりに世界に出ていくレーサーがいる。しかし、実力だけでなく、運と人をひきつける人間性が必要になるのが世界のプロロードレーサーだ。今年のツアー・オブ・ジャパンもあと数年すれば、世界で活躍する日本選手が育つ環境が整うようになるかもしれないと予感した。

デローザ・スタックプラスチックのクリスティアーノ・サレルノ（25）が強固なチーム力に後押しされて初優勝を飾った。

前半は堺ステージを制したマイケル・マシュー（19＝チームジャイコ・スキズ）が脚力を活かしグリーンジャージを守っていたが、イタリア勢を主力とした強豪チームであるデローザ・スタックプラスチックがじわじわと追い上げてきていた。サレルノは最初の山岳区間である奈良を制して、総合優勝争いに名乗りをあげた。

日本選手は堺で盛一大（27＝愛三工業レーシング）が3位、奈良ステージで鈴木真理（35＝シマノレーシング）が3位、美濃ステージでは宮澤崇史（32＝チームNIPPO）が積極的に集団からアタックをかけて3位に入るなど活躍する姿が印象に残った。南信州ステージでは冷静にレース展開

を見極めたベテランの鈴木が区間優勝し、総合成績でも首位に立つなど素晴らしい結果を残した。

富士山ステージでは、登りを得意とするサレルノが圧倒的な速さで区間優勝。総合時間でも2位に大きなタイム差をつけて総合トップになった。

その後、デローザ・スタックプラスチックはサレルノの総合首位をキープするために一丸となってレースを展開し、終始集団をコントロールしていた。それに屈せず、伊豆ステージで果敢にアタックをかけて会場をわかせたのが福島晋一（38＝クムサンジンセンアジア）。伊豆で2位に入り、自身も満足できる結果を残すことができた。

東京ではデローザが抜群の組織力でサレルノの総合優勝をキープすることになった。日本人の最高位は総合5位の福島だった。

デローザ・スタックプラスチック
DE ROSA -STAC PLASTIC (アイルランド/IRL)

No.	NAME / 選手名
1	NEGRI Fabio / ファビオ・ネグリ
2	CUCINOTTA Claudio / クラウディオ・クチノッタ
3	LAGANA Sergio / セルジオ・ラガーナ
4	CATTANEO Marco / マルコ・カッタネオ
5	CORIONI Claudio / クラウディオ・コリオニ
6	SALERNO Cristiano / クリスティアン・サレルノ

TEAM MANAGER : TABAI Marco / マルコ・タバイ

ラファコンドル・シャープ
RAPHA CONDOR -SHARP (イギリス/GBR)

No.	NAME / 選手名
11	HOUSE Kristian / クリスチャン・ハウス
12	LAPTHORNE Darren / ダレン・ラップソー
13	DEMPSTER Zakkari / ザッカリー・デンプスター
14	BRIGGS Graham / グラハム・ブリッグス
15	WINDSOR Dean / ディーン・ウィンザー
16	DOWNING Dean / ディーン・ダウニング

TEAM MANAGER : HERETY John / ジョン・ヘレティ

愛三工業レーシングチーム
AISAN RACING TEAM

No.	NAME / 選手名
81	NISHITANI Taiji / 西谷 泰治
82	AYABE Takeaki / 綾部 勇成
83	MORI Kazuhiro / 盛 一大
84	SUZUKI Kenichi / 鈴木 謙一
85	MATSUMURA Mitsuhiro / 松村 光浩
86	FUKUDA Shimpei / 福田 真平

TEAM MANAGER : TANAKA Mitsuteru / 田中 光輝

ブリヂストン・アンカー
BRIDGESTONE ANCHOR

No.	NAME / 選手名
91	IIJIMA Makoto / 飯島 誠
92	KANOH Tomoya / 狩野 智也
93	YAMAMOTO Masamichi / 山本 雅道
94	FUKUHARA Masaru / 普久原 奨
95	SHIMIZU Miyataka / 清水 都貴
96	ITAMI Kenji / 伊丹 健治

TEAM MANAGER : FUJINO Tomokazu / 藤野 智一

チームジャイコ・スキンズ
TEAM JAYCO -SKINS (オーストラリア/AUS)

No.	NAME / 選手名
21	MATTHEWS Michael / マイケル・マシュー
22	LANG Richard / リチャード・ラング
23	LANE Patrick / パトリック・ライン
24	AITKEN Nick / ニック・アトケン

TEAM MANAGER : STEPHENS Brian / ブリアン・スティーブンス

クムサン ジンセン アジア
GEUMSAN GINSENG ASIA (韓国/KOR)

No.	NAME / 選手名
31	FUKUSHIMA Shinichi / 福島 晋一
32	SAI-UDOMSIN Phuchong / プーチョン・サイウドンシン
33	NARA Motoi / 奈良 基
34	LOW Ji Wen / ロー・ジューウェン
35	YOO Ki Hong / ユー・キホン
36	KIM Yeonguk / キム・ヨンウ

TEAM MANAGER : DANNY Feng / ダニー・フェン

シマノレーシング
SHIMANO RACING

No.	NAME / 選手名
101	SUZUKI Shinri / 鈴木 真理
102	NODERA Hidenori / 野寺 秀徳
103	HATANAKA Yusuke / 畑中 勇介
104	IINO Yoshinori / 飯野 嘉則
105	SUZUKI Yuzuru / 鈴木 譲
106	HIRATSUKA Yoshimitsu / 平塚 吉光

TEAM MANAGER : IMANISHI Hisafumi / 今西 尚志

チームNIPPO
TEAM NIPPO

No.	NAME / 選手名
111	INOUE Kazuo / 井上 和郎
112	GAROFALO Vincenzo / ビンチェンツォ・ガローファロ
113	MASUDA Nariyuki / 増田 成幸
114	MIYAZAWA Takashi / 宮澤 崇史
115	NAKAJIMA Yasuharu / 中島 康晴
116	SANO Junya / 佐野 淳哉

TEAM MANAGER : DAIMON Hiroshi / 大門 宏

マックスサクセススポーツ
MAX SUCCESS SPORTS (中国/CHN)

No.	NAME / 選手名
41	QI Peng Fei / チー・ボンフェー
42	JIANG Kun / ジャン・クン
43	HUANG En / ホワン・エン
44	ZHANG Hui / チャン・ホエ
45	JIAO Peng Da / チャオ・ボンダー
46	XU Gang / シュー・ガン

TEAM MANAGER : SHEN Wei / シェン・ウェ

ルトゥーア サイクリングチーム
LETUA CYCLING TEAM (マレーシア/MAS)

No.	NAME / 選手名
51	NG Yong Li / ウン・ヨンリー
52	MOHD Hafiz Rozli / ローズリ・モハッドハフィス
53	CHUAH Adrian Wye Kit / チュアウ・アドリアンウィキ
54	MOHD SALLEH Mohd Razif / モハッドサレ・モハッドラジフ
55	IBRAHIM James / ジェームス・イブラヒム
56	WITMITZ Samel / サムエル・ウィットミッツ

TEAM MANAGER : KADIR Rahim / カディール・ラヒム

宇都宮ブリッツェン
UTSUNOMIYA BLITZEN

No.	NAME / 選手名
121	NAKAMURA Makoto / 中村 誠
122	TSUJI Yoshimitsu / 辻 善光
123	NAGANUMA Takayuki / 長沼 隆行
124	SAITO Shota / 斉藤 祥太
125	KOSAKA Hikaru / 小坂 光
126	KAKINUMA Akira / 柿沼 章

TEAM MANAGER : KURIMURA Osamu / 栗村 修

パールイズミ・スミタ・ラバネロ
PEARLIZUMI SUMITA RAVANELLO

No.	NAME / 選手名
131	KAMATA Keisuke / 鎌田 圭介
132	TOGAO Taichi / 桐尾 大知
133	TSUJIMOTO Shota / 辻本 翔太
134	KODAN Akira / 小段 亮
135	YONEYAMA Ikki / 米山 一輝
136	SUZUKI Yoshinori / 鈴木 良則

TEAM MANAGER : TAKAMURA Seichi / 高村 精一

ホンコンチャイナチーム
HONG KONG CHINA TEAM (ホンコンチャイナ/HKG)

No.	NAME / 選手名
61	WONG Kam Po / ワン・カンポー
62	KO Siu Wai / コー・シウワイ
63	YEUNG Ying Hon / ヨン・インホン
64	CHAN Chun Hing / チャン・チュンシン
65	CHEUNG King Lok / チャン・デンルー
66	WU Kin San / ウー・キンサン

TEAM MANAGER : SHEN Jin Kang / シェン・ジンカン

カザフスタンナショナルチーム
KAZAKHSTAN NATIONAL TEAM (カザフスタン/KAZ)

No.	NAME / 選手名
71	MIZUROV Andrey / アンドレイ・ミスロフ
72	ZHIYENTAYEV Roman / ロマン・ジエンタエフ
73	JUMABEKOV Nazar / ナザール・ジュマベコフ
74	TLEUBAYEV Ruslan / ルスラン・トレウバイエフ
75	SHUSHEMOIN Alexandr / アレクサンドル・シュシェモイン
76	KUZMIN Sergey / セルゲイ・クズミン

TEAM MANAGER : NADOBENKO Alexandr / アレクサンドル・ナドベンコ

マトリックスパワータグ
MATRIX POWERTAG

No.	NAME / 選手名
141	MANABE Kazuyuki / 真鍋 和幸
142	ABE Yoshiyuki / 阿部 良之
143	MUKAIGAWA Naoki / 向川 尚樹
144	YAMASHITA Takahiro / 山下 貴宏
145	SAWADA Kensyo / 澤田 賢臣
146	WAKUMOTO Masaki / 浦本 正樹

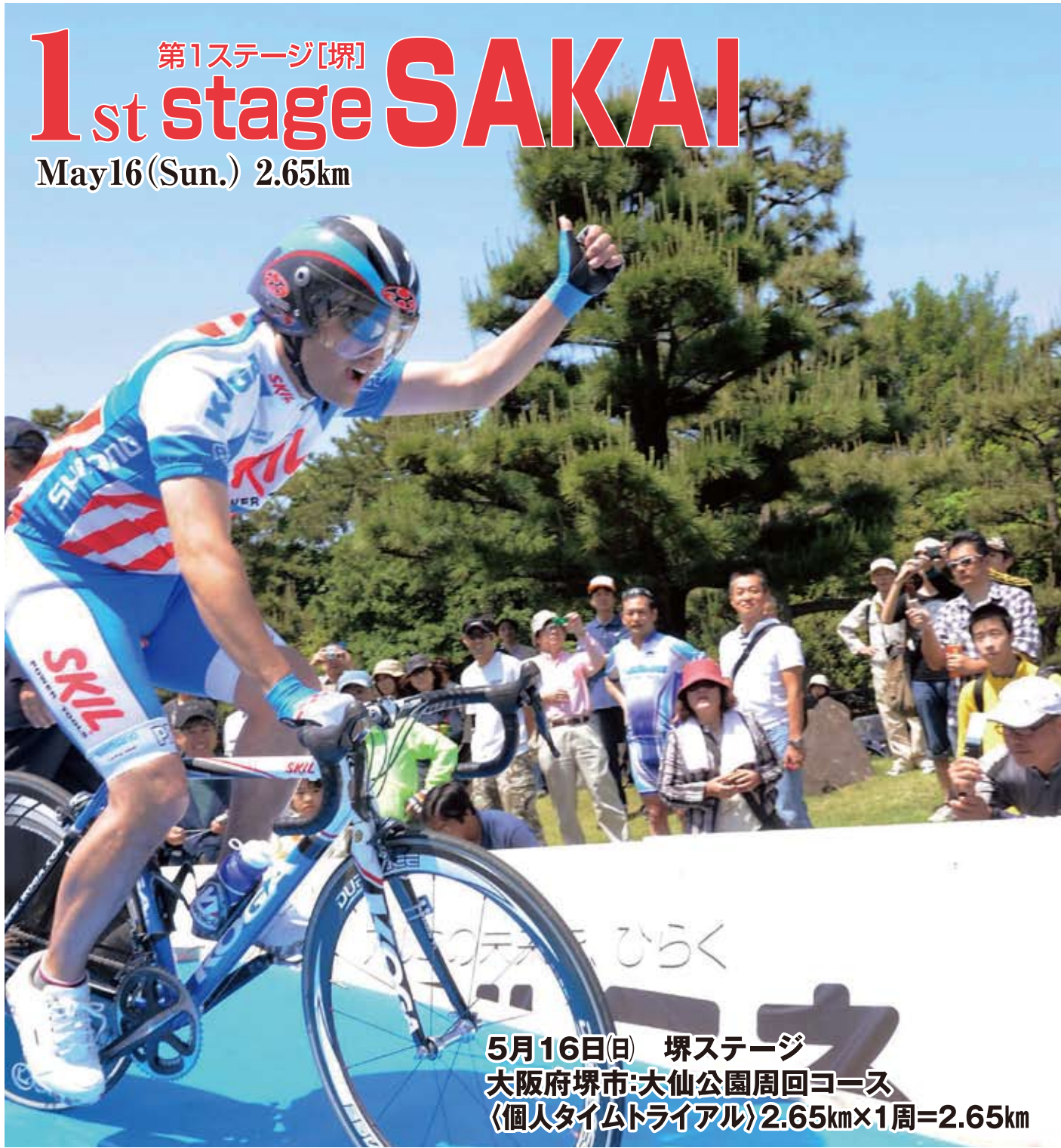
TEAM MANAGER : YASUHARA Masahiro / 安原 昌弘

日本学生自転車競技連盟選抜 (大学選抜ジャパン)
UNIVERSITY ALL JAPAN

No.	NAME / 選手名
151	NISHIZONO Ryota / 西園 良太
152	KIMORI Nozomu / 木守 望
153	TAKAHASHI Masaki / 高橋 将輝
154	HASHIMOTO Tatsuhiko / 橋本 龍弘
155	IINO Tomoyuki / 飯野 智行
156	HORIUCHI Shunsuke / 堀内 俊介

TEAM MANAGER : MIYAKE Syuichiro / 三宅 秀一郎

個人総合時間賞	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス
個人総合ポイント賞	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス



5月16日(日) 堺ステージ
大阪府堺市:大仙公園周回コース
〈個人タイムトライアル〉2.65km×1周=2.65km

堺ステージはマシューが圧勝。盛一大が3位

第14回ツアー・オブ・ジャパンの開幕戦となる堺ステージは5月16日、大阪府堺市にある1周2.65kmの大仙公園周回コースにおいて個人タイムトライアルで争われた。コースは、ほとんどがフラットなのでスピードのある選手に向いている。5つの直角コーナーがあり、タイムを出すのであればテクニックも必要になってくる。

昨年は雨天の中でレースが行なわれたため、選手たちも苦戦を強いられていたが、今年は天候に恵まれ、コーナーも攻めやすく上位選手の間にはテクニックの差はほとんどなかった。そのため、スピード力のある選手が好タイムを出していた。

このステージの優勝はオールラウンダーのマシュー。3分14秒31という圧倒的なタイムだった。2位は3分20秒26のチャン・チンルー(19=ホンコンチャイナ)。3位はタイムトライアル全日本

チャンピオンの盛で3分21秒08と健闘した。

優勝者のマシューはスピードのある走りを得意とし、4月に行なわれたツール・ド・ランカウイでも2勝し、コンディションも良好だった。今まで出場したレースでは20~30kmのタイムトライアルを走っているため、今回のような短いコースは初めて挑むことになったが、優勝を狙って走ったという。

「昨年のツアー・オブ・ジャパンにも出場しているが、あまりいい結果を残すことができなかった。不安もあったけれど、優勝できてとてもうれしい。できる限りグリーンジャージを守りたい」とマシュー。

盛もこのステージで優勝を狙っていたが、2位とは僅差で3位という結果となった。「1位の選手との実力の差が現れたと思う。もう少し考えて走れば2位にはなれたかもしれない。でも、ツアー・オブ・ジャパンは始まったばかりなので、これから挽回していきたい」と盛。

天候	気温	風向き	風速	観客数
晴れ	22.8℃	西	4.0m	82,500人



●UCIチーフオフィサー カート・サウアー氏

●スターターを務める斧隆夫実行委員長

◆堺ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	3分14秒31
2	チャン・チンルー(張敬樂)	ホンコンチャイナチーム	+・05・95
3	盛 一大	愛三工業レーシングチーム	+・06・77
4	ダレン・ラップソーン	ラファコンドールシャープ	+・07・90
5	クラウディオ・クチノッタ	デローザ・スタックプラスチック	+・10・73

◆堺ステージの個人総合上位5人 (堺ステージの成績から規定のボーナスタイムを差し引いたもの)

順位	選手名	所属	タイム
1	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	03分14秒
2	チャン・チンルー(張敬樂)	ホンコンチャイナチーム	+・06・
3	盛 一大	愛三工業レーシングチーム	+・07・
4	ダレン・ラップソーン	ラファコンドールシャープ	+・08・
5	クラウディオ・クチノッタ	デローザ・スタックプラスチック	+・11・

個人総合時間賞	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス
個人総合ポイント賞	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス
個人総合山岳賞	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック



奈良はサレルノが優勝、マシューが首位堅持

奈良ステージは5月17日に、東大寺大仏殿中門前をパレードスタート。レースは1周10.1kmの布目ダム周回コースで行なわれた。

急カーブが何カ所もある奈良ステージのコースは逃げが決まりやすく、ゴール手前約1kmは登りになるため、ヒルクライムを得意とする選手に向いている。

レースは序盤にサレルノ、ニック・アトケン（20=チームジャイコ・スキンス）、アレクサンドル・シュシェモイン（23=カザフスタンナショナルチーム）、宮澤が集団から飛び出し、後半まで4人で逃げ続けた。

しかし、残り2周でアトケンが集団から切り離されたため、3人でゴールを目指した。

残り1kmから続く上り坂で、サレルノと宮澤がシュシェモインを振り切り2人でゴールに向かった。

しかしサレルノが宮澤を振り切りそのまま1位でゴール。宮澤

はゴール直前に集団のゴールスプリントに吸収された。

2位は集団で体力を温存していたマシュー。圧倒的なスピードで飛び出してゴールし、総合1位のグリーンジャージをキープした。3位には鈴木が入った。宮澤は13位だったが、ゴール手前まで続いたサレルノとの勝負で会場をわかせた。

「自分が勝てる展開に持っていけなかったのが敗因。今後もチームとして勝ちを狙って走りたい」と宮澤は悔しさをにじませた。

奈良ステージが国際レースで初勝利となるサレルノは「序盤から集団を飛び出したのに不安もあったが、他の選手と協力し合えたのでゴールまでうまく逃げ切れた。プロとしての初勝利をあげられてとてもうれしい」と笑顔を見せた。

グリーンジャージを守ったマシューは「最初に逃げた4人の中にチームメイトがいたので、あわてずに力を温存できた。明日のコースは平坦が多く、自分に有利なのでグリーンジャージをできる限り守りたい」と話した。

天候	気温	風向き	風速	観客数
曇り	20.3℃	南南西	1.1m	57,000人



◆奈良ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック	2時間33分21秒
2	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	+ 00・04・
3	鈴木 真理	シマノレーシング	//
4	佐野 淳哉	チームNIPPO	//
5	クラウディオ・コリオニ	デローザ・スタックプラスチック	//

◆奈良ステージの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	2時間36分33秒
2	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック	+ 00・09・
3	ダレン・ラップソン	ラファコンドール・シャープ	+ 00・14・
4	アンドレイ・ミズロフ	カザフスタンナショナルチーム	+ 00・17・
5	奈良 基	クムサン ジンセン アジア	//

個人総合時間賞	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス
個人総合ポイント賞	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス
個人総合山岳賞	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック

第3ステージ[美濃]

3rd stage

MINO

May18(Tue.) 160.7km

5月18日(火) 美濃ステージ

岐阜県美濃市:旧今井家住宅前→横越→美濃和紙の里会館前周回コース

〈パレード4.0km〉11.6km+21.3km×7周=160.7km



総合力を試される美濃はクチノッタが優勝

美濃ステージは5月18日、岐阜県美濃市にある美濃和紙の里会館前周回コースで行なわれた。山岳ポイントが一つあるだけで、その他は平坦となる美濃ステージは、前半からの逃げが決まりにくく、集団でのゴールスプリントで勝負が決まることが多い。

この日も、前半に福島や清水都貴(29=ブリヂストン・アンカー)ら数人が集団から飛び出して、協力し合ってゴールを目指していたが、追い上げてきた集団に捕まえられた。

レース後半も、福島やワン・カンボー(37=ホンコンチャイナチーム)など、何度か集団から飛び出す選手がいたが、ゴールまで逃げることはできなかった。

最終周回は1つの集団にまとまり、そのままゴールスプリントを迎えることになった。

集団を先導していたのはデローザの選手たち。エースであるクラウド・クチノッタ(28=デローザ・スタックプラスチック)を一

番後ろに置いて体力を温存させていた。クチノッタはラスト3kmからゴール手前300mまでは、同じスプリンターのチームメイト、クラウド・コリオニ(27)を風よけにして、万全の状態でゴールスプリント勝負をかけた。

それに対し、宮澤やザッカリー・デンプスター(ラファコンドール・シャープ)がクチノッタの動きにすかさず反応し、激戦になった。ゴール直前、集団から単身で前に飛び出したのはクチノッタ。最後は、余裕を持ってフィニッシュし、優勝した。

クチノッタは「チームメイトがうまくサポートしてくれたので優勝できた。今シーズンのレースで初めての勝利をととても重要に思う」と笑顔を見せた。

クチノッタに勝負をかけた宮澤は、惜しくもデンプスターに次いで3位だった。

「奈良ステージで逃げた時の疲れがないと言ったら嘘になるけれど、勝負をかけたかった。自分の得意パターンだったのに勝てなかったのが悔しい」と宮澤。

天候	気温	風向き	風速	観客数
曇り	22.8℃	南東	4.0m	20,000人

●パレードの先頭を走る左から
北京五輪ケイリン銅メダリス
ト永井清史選手 古田肇岐阜
県知事 石川道政 美濃市長

山岳賞
Best Climbers

○平成24年ぎふ清流国体マスコットキャラ
クター ミナモも応援に駆けつけた

●美濃ステージ優勝のクラウド・クチノッタ選手を称える
石川道政美濃市長

●美濃ステージ個人総合時間賞マイケル・マシュー選手を称える
高井孝市朗実行委員長



◆美濃ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	クラウド・クチノッタ	デローザ・スタックプラスチック	3時間42分35秒
2	ザッカリー・デンプスター	ラファコンドール・シャープ	+ 00・00・
3	宮澤 崇史	チームNIPPO	//
4	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	//
5	盛 一大	愛三工業レーシングチーム	//

◆美濃ステージの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	6時間19分08秒
2	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック	+ 00・09・
3	ダレン・ラップソン	ラファコンドール・シャープ	+ 00・14・
4	ワン・カンボー(黄金寶)	ホンコンチャイナチーム	//
5	アンドレイ・ミズロフ	カザフスタンナショナルチーム	+ 00・17・

個人総合時間賞	鈴木 真理	シマノレーシング
個人総合ポイント賞	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス
個人総合山岳賞	クリスティアーン・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック



5月19日(水) 南信州ステージ
長野県飯田市:飯田駅前→下久堅周回コース→松尾総合運動場前
〈パレード7.3km〉12.2km×12周+1.6km=148.0km

南信州ステージ優勝の鈴木真理が総合トップに

南信州ステージは5月19日、長野県飯田市の下久堅周回コースで行なわれた。ほぼ全ルートが過酷な登りが急激な下りになるこのコースは高速で急カーブを疾走するので、選手たちにはテクニックも要求される。

優勝を狙っていたのは、このステージを地元とする福島。チームメイトと事前に綿密な打ち合わせをしてレースに挑んだ。

レース序盤から少人数で飛び出して集団からの逃げを決めるメンバーの中に福島のチームメイトがいたので、レース後半まで安心して体力を温存することができた。レース終盤、前を走っていた少人数集団が後続に吸収され、集団が一つになったとき、飛び出したのは福島だった。それに反応してヨン・インホーン(22=ホンコンチャイナチーム)が福島に追いつき2人で協力してゴールを目指した。

この2人の動きに対して冷静な走り続けたのが鈴木だった。

福島とインホーンはゴール手前300mまで逃げたが、鈴木の前想通り追走してきたコリオニや佐野淳哉(28=チームNIPPO)たちに捕まった。

そのため、勝敗は6人のゴールスプリントにゆだねられた。

直前、6人は横1列に並んだ。その中で鈴木がわずかに前に出て優勝した。

熱い走りで飯田市民を湧かせた福島は4位という結果に「とても悔しい。ラスト1kmでインホーンの様子をうかがわず、単身で飛び出せば結果はちがっていたかもしれない。一瞬の判断ミスで優勝を逃してしまった」と後悔の表情。

チームNIPPOやデローザ・スタックプラスチックの選手たちが必ずゴール手前に福島に追いつくと思ったので、それに賭けていたという鈴木。

「世界に通じるほどレベルの高いコースレイアウトの南信州ステージで勝て、個人総合首位にもなれたので、とてもうれしい。選手としての自信にもつながった」と喜びを語った。

天候	気温	風向き	風速	観客数
曇り	14.8℃	南西	0.6m	36,000人



●名物TOJコーナーを疾走する選手たち

●力走する福島晋一選手

●南信州ステージ優勝を飾った鈴木真理選手を称える
牧野光朗飯田市長

◆南信州ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	鈴木 真理	シマノレーシング	3時間59分35秒
2	クラウディオ・コリオニ	デローザ・スタックプラスチック	+・00・00・
3	佐野 淳哉	チームNIPPO	//
4	福島 晋一	クムサン ジンセン アジア	//
5	ヨン・インホーン	ホンコンチャイナチーム	//

◆南信州ステージの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	鈴木 真理	シマノレーシング	10時間18分53秒
2	佐野 淳哉	チームNIPPO	+・00・05・
3	クラウディオ・コリオニ	デローザ・スタックプラスチック	+・00・06・
4	クリスティアーン・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック	+・00・09・
5	福島 晋一	クムサン ジンセン アジア	+・00・12・

個人総合時間賞	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック
個人総合ポイント賞	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス
個人総合山岳賞	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック

第5ステージ[富士山]
5th stage FUJISAN
May21 (Fri.) 11.4km



富士山ステージはサレルノが区間2勝目で総合トップに

富士山ステージは5月21日、静岡県小山町のふじあざみラインから富士山須走口5合目に至るコースで行なわれた。距離11.4kmで高低差1200mを一気に駆け上がる富士山ステージはヒルクライムを得意とする選手に非常に有利なコースになる。09年まではタイムトライアルとして行なわれたが、今年は一斉スタートのロードレースとなった。

レース序盤、積極的に飛び出した選手たちによって約20人の集団が形成された。そこから集団の前に出たのがアンドレイ・ミズロフ(37=カザフスタンナショナルチーム)とシュシェモイン。2人の動きに、サレルノとチームNIPPOのビンツェンツォ・ガローファロ(27)と佐野の3人がついていき5人でゴールを目指した。

しかし、中盤に入るとチームNIPPOの2人は集団のハイスピードについていけず脱落し、先頭は3人になった。

前日にコースを試走した時点で、後半に一気にペースを上げようと考えていたサレルノは、予定通り3人の中から単身で飛び出してゴールを目指した。そのままサレルノは安定したスピードで後続の2人を約1分引き離し、余裕をもってゴールした。

今大会の富士山ステージで優勝することを目標にしていたサレルノは奈良ステージに続いて国際レース2勝目をあげることができた。

「とてもうれしい。イタリアにもいろいろな山があるが、富士山は今まで見た中で一番美しいと思う。今後はチームメイトと協力し合って最後まで総合トップを守りたい」

ステージ5位で日本人最高位だった狩野智也(シマノレーシング)は「ペースを考えて上っていたが、サレルノのスピードは強烈でついていけなかった。悔しいけれど、残りのステージも優勝を目指して攻める姿勢で走りたい」と話した。

天候	気温	風向き	風速	観客数
晴れ	22.2℃	南南西	3m	3,500人



◆富士山ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック	40分49秒
2	アンドレイ・ミズロフ	カザフスタンナショナルチーム	+01・15
3	アレクサンドル・シュシェモイン	カザフスタンナショナルチーム	+01・28
4	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	+02・39
5	狩野 智也	ブリヂストン・アンカー	+02・41

◆富士山ステージの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック	10時間59分51秒
2	アンドレイ・ミズロフ	カザフスタンナショナルチーム	+・01・45・
3	アレクサンドル・シュシェモイン	カザフスタンナショナルチーム	+・02・15・
4	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	+・02・52・
5	福島 晋一	クムサン ジンセン アジア	+・03・10・

個人総合時間賞	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック
個人総合ポイント賞	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス
個人総合山岳賞	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック



伊豆ステージ優勝はハウス。2位に福島晋一

伊豆ステージは5月22日、静岡県伊豆市の日本サイクルスポーツセンター周回コースで行なわれた。コースは一周12.2kmでハードなアップダウンとコーナーが連続するため、大きな逃げが決まりやすい。

この日は序盤に、9人のグループが集団から飛び出して逃げを決めた。その後、周回を重ねるごとに先頭グループは人数が減っていき、レース終盤には、クリスチャン・ハウス（30＝ラファコンドル・シャープ）とチームメイトのダレン・ラップソーン（27）、平塚吉光（21＝シマノレーシング）、清水の4人になっていた。

清水は積極的にグループを引いていたが、レース終盤にコーナーで落車。すぐにレースに復帰して3人に追いついたが、落車のダメージが尾を引き徐々に先頭グループから離脱していった。

先頭グループはそのまま大詰めに入し、ゴール手前5kmでハウスは3人の中から飛び出し、2人に差をつけて単身でゴールを目

指した。その後、ラップソーンと平塚はスピードを上げて近づいてきたメイン集団に吸収された。

ゴール手前約2kmで福島が優勝を狙って全力で集団から飛び出した。ハウスは後続に追いつかれる危機感もあったが、後ろは気にするなという監督の言葉を信じてひたすら前進し、福島の追い上げからも逃げ切り優勝。福島も、ハウスに追いつけなかったものの2位と健闘した。

今ステージ優勝を目指して走ったハウスは「距離は短かったけれど、とてもハードなレースだった。ラップソーンと平塚とともに、いい展開で逃げる事ができた。日本の観客たちの温かい声援がとてもうれしかった。感謝したい」と話した。

大会4日目の南信州ステージでゴール手前まで逃げたが、一瞬の判断ミスで優勝を逃した福島は「今回は自分の力を出し切れた。ハウスに追いつくことはできなかったけれど悔いはない」とさわやかな表情を見せた。

個人総合時間首位はサレルノが守った。

天候	気温	風向き	風速	観客数
晴れ	25.5℃	北東	3.7m	17,000人



◆伊豆ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	クリスチャン・ハウス	ラファコンドル・シャープ	2時間50分44秒
2	福島 晋一	クムサン ジンセン アジア	+・00・19・
3	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	+・00・21・
4	野寺 秀徳	シマノレーシング	//
5	鈴木 真理	シマノレーシング	+・00・24・

◆伊豆ステージの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック	13時間50分59秒
2	アンドレイ・ミズロフ	カザフスタンナショナルチーム	+・01・45・
3	アレクサンドル・シュシェモイン	カザフスタンナショナルチーム	+・02・15・
4	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	+・02・45・
5	福島 晋一	クムサン ジンセン アジア	+・02・59・

個人総合時間賞	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック
個人総合ポイント賞	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス
個人総合山岳賞	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック



第7ステージ[東京]

7th stage TOKYO

5月23日(日) 東京ステージ May23(Sun.) 112.7km
東京都:千代田区日比谷シティ前→品川区大井埠頭周回コース
(パレード1.2km) 14.7km+7.0km×14周=112.7km

東京Vはクチノッタ。東大西蘭は総合11位

第14回ツアー・オブ・ジャパン最終戦となる東京ステージは5月23日、東京都の大井埠頭周回コースで行なわれた。大井埠頭周回コースはすべてがフラットで全長7kmと短く、大会で唯一スプリンター向きのコースだ。

当日のレースは雨が降り、路面も滑りやすい状態になっていた。序盤に何人もの選手が集団から飛び出して逃げようとしたが、無線が使えなかったため、焦りを感じていたチームが多かったという。そのため、集団から選手が飛び出しても、すぐに捕まえられるという状況が続いた。

中盤になり、一瞬の隙をついて飛び出したのが西谷泰治(29=愛三工業レーシング)。それを追った4人が西谷に追いつきグループを形成。5人で協力し合ってゴールを目指した。5人はうまく先頭交代して終盤まで逃げたが、後続集団のスピードが上がり吸収された。

最終周回で集団は一つになり、勝負はゴールスプリントに委ねられた。ゴール手前、スプリントを得意とする選手たちが集団の前に

出た。

徐々にスピードが上がり、集団は横1列になり、僅差でクチノッタが先頭でゴールした。大会3日目の美濃ステージでの区間優勝に次いで2勝目となったクチノッタ。

「サレルノの総合時間トップを守るのが最大の目標だったけれど、東京ステージの優勝も狙っていた。最後のスプリントがうまくいって、とてもうれしい」

国際レースで自身初の総合優勝を飾り、山岳賞も獲得したサレルノ。プロレーサーとして初めて優勝したのは今大会の奈良ステージで、富士山で2勝目をあげた。

大会中、総合時間トップになってから終始、緊張していたというサレルノは「総合優勝できた実感はまだないけれど、徐々にうれしさを感じている。チームメイトの活躍に感謝したい」とリラックスした表情で話した。

個人総合ポイント賞は堺を制したマシュー。団体総合時間賞はカザフスタンナショナルチームが獲得した。

日本人の最高位は福島島の5位。東京大の西蘭は総合11位に入った。

天候	気温	風向き	風速	観客数
雨	19.1℃	東北東	1m	110,000人



◆東京ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	クラウディオ・クチノッタ	デローザ・スタックプラスチック	2時間17分21秒
2	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	+ 00・00・
3	ザッカリ・デンプスター	ラファコンドール・シャープ	//
4	宮澤 崇史	チームNIPPO	//
5	盛 一大	愛三工業レーシングチーム	//

◆東京ステージの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック	16時間08分20秒
2	アンドレイ・ミズロフ	カザフスタンナショナルチーム	+ 01・45・
3	アレクサンドル・シシェモイン	カザフスタンナショナルチーム	+ 02・15・
4	マイケル・マシュー	チームジャイコ・スキンス	+ 02・39・
5	福島 晋一	クムサン ジンセン アジア	+ 02・59・



◆個人総合時間順位

順位	選手名	所属	タイム	タイム差
1	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック	16時間08分20秒	
2	アンドレイ・ミズロフ	カザフスタンナショナルチーム	16・10・05・	01分45秒
3	アレクサンドル・シュシェモイン	カザフスタンナショナルチーム	16・10・35・	02・15・
4	マイケル・マシュ	チームジャイコ・スキンス	16・10・59・	02・39・
5	福島 晋一	クムサン ジンセン アジア	16・11・19・	02・59・
6	ピンチェンツォ・ガローファロ	チームNIPPO	16・11・42・	03・22・
7	佐野 淳哉	チームNIPPO	16・12・30・	04・10・
8	狩野 智也	ブリヂストン・アンカー	16・13・40・	05・20・
9	ダレン・ラップソーン	ラファコンドール・シャープ	16・14・08・	05・48・
10	ヨン・インホーン	ホンコンチャイナチーム	16・14・16・	05・56・
11	西園 良太	日本学生自転車競技連盟選抜 (大学選抜ジャパン)	16・15・01・	06・41・
12	鈴木 謙	シマノレーシング	16・16・38・	08・18・
13	チャン・チュンシン	ホンコンチャイナチーム	16・16・42・	08・22・
14	ワン・カンポー	ホンコンチャイナチーム	16・16・50・	08・30・
15	チャオ・ボンダー	マックスサクセススポーツ	16・16・55・	08・35・
16	ナザール・ジュマベコフ	カザフスタンナショナルチーム	16・17・10・	08・50・
17	平塚 吉光	シマノレーシング	16・17・22・	09・02・
18	野寺 秀徳	シマノレーシング	16・18・19・	09・59・
19	鈴木 真理	シマノレーシング	16・18・39・	10・19・
20	西谷 泰治	愛三工業レーシングチーム	16・18・51・	10・31・
21	井上 和郎	チームNIPPO	16・20・00・	11・40・
22	クリスチャン・ハウス	ラファコンドール・シャープ	16・20・06・	11・46・
23	長沼 隆行	宇都宮ブリッツェン	16・20・23・	12・03・
24	増田 成幸	チームNIPPO	16・21・34・	13・14・
25	バトリック・ライン	チームジャイコ・スキンス	16・22・10・	13・50・
26	クラウドディオ・コリオニ	デローザ・スタックプラスチック	16・23・57・	15・37・
27	山下 貴宏	マトリックスパワータグ	16・24・15・	15・55・
28	鎌田 圭介	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	16・25・22・	17・02・
29	ウー・キンサン	ホンコンチャイナチーム	16・27・07・	18・47・
30	ロマン・ジェンタエフ	カザフスタンナショナルチーム	16・27・22・	19・02・
31	綾部 勇成	愛三工業レーシングチーム	16・27・27・	19・07・
32	ロー・ジューウェン	クムサン ジンセン アジア	16・29・45・	21・25・
33	清水 都貴	ブリヂストン・アンカー	16・30・25・	22・05・
34	畑中 勇介	シマノレーシング	16・30・56・	22・36・
35	マルコ・カッタネオ	デローザ・スタックプラスチック	16・32・10・	23・50・
36	セルジオ・ラガーナ	デローザ・スタックプラスチック	16・32・53・	24・33・
37	真鍋 和幸	マトリックスパワータグ	16・34・25・	26・05・
38	阿部 良之	マトリックスパワータグ	16・34・43・	26・23・
39	鈴木 謙一	愛三工業レーシングチーム	16・35・20・	27・00・
40	中島 康晴	チームNIPPO	16・37・35・	29・15・
41	シュー・ガン	マックスサクセススポーツ	16・38・25・	30・05・
42	セルゲイ・クズミン	カザフスタンナショナルチーム	16・39・44・	31・24・
43	盛 一大	愛三工業レーシングチーム	16・42・00・	33・40・
44	飯野 嘉則	シマノレーシング	16・42・01・	33・41・
45	柿沼 章	宇都宮ブリッツェン	16・42・09・	33・49・
46	奈良 基	クムサン ジンセン アジア	16・42・53・	34・33・
47	ホワン・エン	マックスサクセススポーツ	16・43・14・	34・54・
48	チャン・チンルー	ホンコンチャイナチーム	16・43・26・	35・06・
49	ザッカリー・デンプスター	ラファコンドール・シャープ	16・43・58・	35・38・
50	飯島 誠	ブリヂストン・アンカー	16・45・27・	37・07・

◆個人総合ポイント

順位	選手名	所属	堺	奈良	美濃	南信州	富士山	伊豆	東京	総合ポイント
1	マイケル・マシュ	チームジャイコ・スキンス	10	20	14	8		16	20	88
2	鈴木 真理	シマノレーシング		16	9	25		12		62
3	クラウドディオ・クチノッタ	デローザ・スタックプラスチック	6		25				25	56
4	クリスチャン・ハウス	ラファコンドール・シャープ			12			35		47
5	ザッカリー・デンプスター	ラファコンドール・シャープ	5		20				16	41
6	福島 晋一	クムサン ジンセン アジア	3		3	14		20		40
7	ダレン・ラップソーン	ラファコンドール・シャープ	7	10	8	1		10	3	39
8	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック		25		9		1		35
9	佐野 淳哉	チームNIPPO		14		16		4		34
10	宮澤 崇史	チームNIPPO		3	16				14	33



個人総合ポイント賞獲得のマシュ

◆個人総合山岳賞

順位	選手名	所属	奈良	美濃	南信州	富士山	伊豆	総合ポイント
1	クリスティアーノ・サレルノ	デローザ・スタックプラスチック	15	6		15	1	37
2	アレクサンドル・シュシェモイン	カザフスタンナショナルチーム	8			10		18
3	クリスチャン・ハウス	ラファコンドール・シャープ		2	5		7	14
4	アンドレイ・ミズロフ	カザフスタンナショナルチーム		2		12		14
5	清水 都貴	ブリヂストン・アンカー		3			8	11
6	ダレン・ラップソーン	ラファコンドール・シャープ		1			10	11
7	ピンチェンツォ・ガローファロ	チームNIPPO		5		4		9
8	ヨン・インホーン	ホンコンチャイナチーム		3	6			9
9	平塚 吉光	シマノレーシング			1	1	7	9
10	福島 晋一	クムサン ジンセン アジア		3		5		8



個人総合時間と2冠達成のサルレノ

◆団体総合時間賞

順位	所属	堺	奈良	美濃	南信州	富士山	伊豆	東京	総合時間
1	カザフスタンナショナルチーム	0時間10分23秒	7時間40分29秒	11時間07分45秒	12時間00分40秒	2時間09分01秒	8時間37分09秒	6時間52分03秒	48時間37分30秒
2	シマノレーシング	0・10・34・	7・40・22・	11・07・45・	11・59・49・	2・17・08・	8・34・16・	6・52・03・	48・41・57・
3	チームNIPPO	0・10・34・	7・40・15・	11・07・45・	11・59・17・	2・16・28・	8・37・09・	6・52・03・	48・43・31・
4	ホンコンチャイナチーム	0・10・22・	7・40・29・	11・07・45・	12・00・26・	2・20・50・	8・34・14・	6・52・03・	48・46・09・
5	デローザ・スタックプラスチック	0・10・24・	7・40・11・	11・07・45・	12・02・40・	2・15・00・	8・47・59・	6・52・03・	48・56・02・
6	愛三工業レーシングチーム	0・10・18・	7・40・22・	11・07・45・	12・09・07・	2・31・55・	8・41・12・	6・52・03・	49・12・42・
7	ラファコンドール・シャープ	0・10・13・	7・42・57・	11・07・45・	12・14・25・	2・23・02・	8・44・40・	6・52・03・	49・15・05・
8	クムサン ジンセン アジア	0・10・16・	7・40・29・	11・07・45・	12・10・40・	2・18・59・	8・55・17・	6・52・03・	49・15・29・
9	チームジャイコ・スキンス	0・10・08・	7・42・13・	11・08・52・	12・11・27・	2・18・23・	8・57・56・	6・52・29・	49・21・28・
10	ブリヂストン・アンカー	0・10・24・	7・41・34・	11・10・30・	12・12・56・	2・25・21・	8・55・51・	6・52・16・	49・28・52・
11	マトリックスパワータグ	0・10・41・	7・40・35・	11・07・45・	12・14・40・	2・27・20・	8・59・55・	6・52・03・	49・32・59・
12	マックスサクセススポーツ	0・10・41・	7・41・02・	11・07・45・	12・19・47・	2・24・55・	9・00・07・	6・52・03・	49・36・20・
13	宇都宮ブリッツェン	0・10・48・	7・40・58・	11・09・41・	12・22・22・	2・28・56・	8・52・23・	6・52・03・	49・37・11・
14	日本学生自転車競技連盟選抜 (大学選抜ジャパン)	0・10・50・	7・41・37・	11・07・45・	12・22・03・	2・29・15・	9・08・32・	6・52・03・	49・52・05・
15	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	0・10・46・	7・45・20・	11・08・52・	12・23・02・	2・25・30・	9・10・47・	6・53・32・	49・57・49・



団体総合時間賞を獲得したカザフスタンナショナルチーム

新緑を駆け抜けろ。



14th TOUR OF JAPAN
2010.5/16(Sun)~23(Sun)

5.16(日) 堺
5.17(月) 奈良 **5.21(金) 富士山**
5.18(火) 美濃 **5.22(土) 伊豆**
5.19(水) 南信州 **5.23(日) 東京**

主催：自転車月間推進協議会／朝日新聞社／日刊スポーツ新聞社 主幹：TOUR OF JAPAN組織委員会（事務局：財）日本自転車普及協会 競技主管：財）日本自転車競技連盟
後援：内閣府／経済産業省／国土交通省／環境省／東京都／財）JICA 協力：堺市／奈良市／奈良県／山梨県／伊豆市／静岡県機械工業会／静岡県自転車協会／静岡県自転車競技連盟
協賛：三菱電機 **SPEEDチャンネル** **日本一ゴ株式会社** ツアー・オブ・ジャパンHP <http://www.toj.co.jp>
協賛：富士重工業(株)／美響総合リース(株)／アルミネ／東京海上日動火災保険(株)／後バールズミ／HULE／ヤマハ発動機(株)／SBAA／(株)マックス／東京サイクル(株)／(株)シマノ／(株)信濃信用金庫／アサヒスポーツウェア(株)／富士通フロンテック(株)／(株)NIPPON／(株)サイクルワールド(株)／一般財団法人希聖堂ビクターズビューロー／(株)家産産業／JANIS(株)／長野県協同電器／フジストンサイクル(株)／日本パナ輸入組合／(株)みずほ銀行／近畿日本ツーリスト(株)

●ポスター、チラシ(表)

大会HP <http://www.toj.co.jp>



●大会オフィシャルグッズ

●プログラム

14th TOUR OF JAPAN
2010.5/16(Sun)~23(Sun)

＜PROGRAM＞

5.16(日) 堺 **5.17(月) 奈良** **5.18(火) 美濃** **5.19(水) 南信州**
5.21(金) 富士山 **5.22(土) 伊豆** **5.23(日) 東京**

ツアー・オブ・ジャパンHP <http://www.toj.co.jp>
この事業は、競輪の補助金を受けて実施するものです。
<http://ringing-keirin.jp>

●自転車専門誌広告掲載

Funride's magazine
CYCLESPOOTS
CYCLESPOOTS

新緑を駆け抜けろ。



14th TOUR OF JAPAN
2010.5/16(Sun)~23(Sun)

5.16(日) 堺 **5.17(月) 奈良** **5.21(金) 富士山**
5.18(火) 美濃 **5.22(土) 伊豆**
5.19(水) 南信州 **5.23(日) 東京**

主催：自転車月間推進協議会／朝日新聞社／日刊スポーツ新聞社 主幹：TOUR OF JAPAN組織委員会（事務局：財）日本自転車普及協会 競技主管：財）日本自転車競技連盟
後援：内閣府／経済産業省／国土交通省／環境省／東京都／財）JICA 協力：堺市／奈良市／奈良県／山梨県／伊豆市／静岡県機械工業会／静岡県自転車協会／静岡県自転車競技連盟
協賛：三菱電機 **SPEEDチャンネル** **日本一ゴ株式会社** ツアー・オブ・ジャパンHP <http://www.toj.co.jp>
協賛：富士重工業(株)／美響総合リース(株)／アルミネ／東京海上日動火災保険(株)／後バールズミ／HULE／ヤマハ発動機(株)／SBAA／(株)マックス／東京サイクル(株)／(株)シマノ／(株)信濃信用金庫／アサヒスポーツウェア(株)／富士通フロンテック(株)／(株)NIPPON／(株)サイクルワールド(株)／一般財団法人希聖堂ビクターズビューロー／(株)家産産業／JANIS(株)／長野県協同電器／フジストンサイクル(株)／日本パナ輸入組合／(株)みずほ銀行／近畿日本ツーリスト(株)

●チラシ(裏)

14th TOUR OF JAPAN
2010.5/16(Sun)~23(Sun)

5.16(日) 堺 **5.17(月) 奈良** **5.21(金) 富士山**
5.18(火) 美濃 **5.22(土) 伊豆**
5.19(水) 南信州 **5.23(日) 東京**

主催：自転車月間推進協議会／朝日新聞社／日刊スポーツ新聞社 主幹：TOUR OF JAPAN組織委員会（事務局：財）日本自転車普及協会 競技主管：財）日本自転車競技連盟
後援：内閣府／経済産業省／国土交通省／環境省／東京都／財）JICA 協力：堺市／奈良市／奈良県／山梨県／伊豆市／静岡県機械工業会／静岡県自転車協会／静岡県自転車競技連盟
協賛：三菱電機 **SPEEDチャンネル** **日本一ゴ株式会社** ツアー・オブ・ジャパンHP <http://www.toj.co.jp>
協賛：富士重工業(株)／美響総合リース(株)／アルミネ／東京海上日動火災保険(株)／後バールズミ／HULE／ヤマハ発動機(株)／SBAA／(株)マックス／東京サイクル(株)／(株)シマノ／(株)信濃信用金庫／アサヒスポーツウェア(株)／富士通フロンテック(株)／(株)NIPPON／(株)サイクルワールド(株)／一般財団法人希聖堂ビクターズビューロー／(株)家産産業／JANIS(株)／長野県協同電器／フジストンサイクル(株)／日本パナ輸入組合／(株)みずほ銀行／近畿日本ツーリスト(株)

「NHK ニュース」 NHK大阪 5/13 18:45~19:00



「県政フラッシュ」 奈良テレビ放送 5/17 21:54~22:00



「14th TOUR OF JAPAN」 飯田ケーブルテレビ 5/19 8:44~13:38



「abnステーション」 長野朝日放送 5/19 18:17~18:55



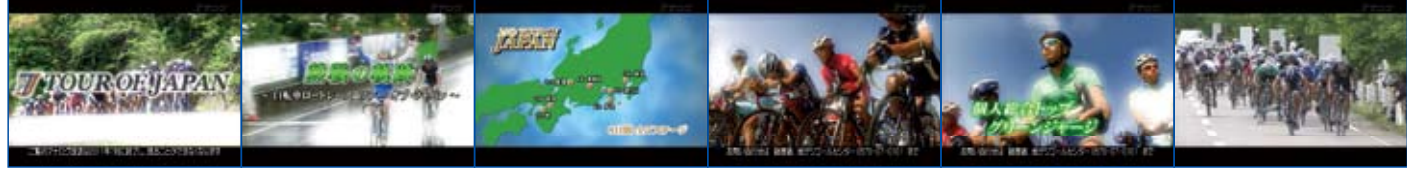
「14th TOUR OF JAPAN #3 美濃ステージ」 岐阜放送 5/23 19:00~19:54



「スピチャン!ウィークリーウォッチ」 SPEED チャンネル 5/29 5:00~5:15 19:30~19:45 22:30~22:45



「熱戦の軌跡 自転車ロードレース ツアー・オブ・ジャパン」 信越放送6/6 テレビ大阪6/10 岐阜放送6/12 東京メトロポリタンテレビジョン6/20



「銀輪の風」 BS-TBS Part1 6/14 23:30~24:00 Part2 6/21 23:30~24:00



「14th Tour of Japan」 関連 OA番組一覧

	放映日	番組名	放送波
NHK	5/13 18:45~19:00	NHK ニュース	NHK総合(大阪)
	5/19 18:10~19:00	イブニング信州	NHK総合(飯田)
	5/17 21:54~22:00	県政フラッシュ	奈良テレビ放送
	5/19 8:44~13:38	14th TOUR OF JAPAN	飯田ケーブルテレビ
	5/19 18:17~18:55	abnステーション	長野朝日放送
その他	5/23 19:00~19:54	14th TOUR OF JAPAN #3 美濃ステージ	岐阜放送
	5/29 5:00~5:15		
	19:30~19:45(再放送)	スピチャン! ウィークリーウォッチ	SPEED チャンネル
	22:30~22:45(再放送)		
	6/6 16:00~16:54	熱戦の軌跡 自転車ロードレース ツアー・オブ・ジャパン	信越放送
	6/10 1:20~2:15	熱戦の軌跡 自転車ロードレース ツアー・オブ・ジャパン	テレビ大阪
	6/12 18:00~19:00	熱戦の軌跡 自転車ロードレース ツアー・オブ・ジャパン	岐阜放送
	6/14 23:30~24:00	銀輪の風 Part1	BS-TBS
	6/20 20:00~21:00	熱戦の軌跡 自転車ロードレース ツアー・オブ・ジャパン	東京メトロポリタンテレビジョン
	6/21 23:30~24:00	銀輪の風 Part2	BS-TBS

[illegible]

- 協賛企業応援告知
自転車月間広告
朝日新聞(東京&札幌&大阪&名古屋&北九州)5月1日(土)

[illegible]

- 大会告知
日刊スポーツ(東京)5月14日(金)

- 大会告知
日刊スポーツ(東京&大阪&名古屋&北九州)5月16日(日)

[illegible]

- 大会告知
富士山・伊豆・東京開催告知 朝日新聞(東京)5月20日(火)

2014 第14回 ツアー オフ ジャパン 16日間車

※参加の人数は開催地と開催日の人数の合計

1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

第14回 ツアー オフ ジャパン 16日間車

学連選抜、初の参戦

1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0



1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0



1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

14th
TOUR OF
JAPAN

日本最大級のロードレース。いよいよ開幕!

14th of Japan Tour of Japan

MITSUBISHI
Changes for the Better

SPEED
7RACING

ハアルズ
THULE

YAMAHA SHIMANO SUNTOUR EPSON

- 協賛企業応援告知
朝日新聞(東京&大阪&名古屋)5月13日(木)

[illegible]

- 大会告知
堺・奈良開催告知 朝日新聞(大阪)5月15日(土)

[illegible]

- 大会告知
美濃・南信州開催告知 朝日新聞(東京&名古屋)5月17日(月)

[illegible]

- 大会告知
南信州新聞(飯田)5月18日(火)

銀輪 壁駆け抜ける
ツアーズ・ジャパン開催

「ツアーズ・ジャパン」は、毎年、日本各地で開催されている自転車競技大会。今年も、7月14日（土）に、東京都立大体育館で開催された。この大会は、日本自転車競技連盟（JCF）主催で、日本各地の自転車競技愛好会が参加している。今年も、多くの選手が参加し、激しい競争が行われた。大会は、男子、女子、混合の3部門で行われ、それぞれが、個人、団体、混合の3種目で行われた。大会は、午前10時から始まり、午後5時までに終了した。大会は、多くの観客が参加し、大盛況で終わった。大会は、日本各地の自転車競技愛好会が参加している。今年も、多くの選手が参加し、激しい競争が行われた。大会は、午前10時から始まり、午後5時までに終了した。大会は、多くの観客が参加し、大盛況で終わった。



大田区立大体育館。コース下物壁駆け抜ける選手たち。写真：大田区立大体育館

- 朝日新聞(大阪)5月17日(月)

[illegible]

- 日刊スポーツ(大阪&名古屋&北九州)5月17日(月)

[illegible]

- 朝日新聞(東京&北九州)5月18日(火)

[illegible]

- 朝日新聞(名古屋)5月18日(火)

- 朝日新聞(奈良)5月18日(火)

[illegible]

- 日刊スポーツ(大阪&名古屋&北九州)5月18日(火)



第17回全日本選手権自転車競技大会、男子ロードレース。奈良市でスタートした選手たちが、石段を駆け上る。奈良市は、この大会の会場となる。

新緑の中、坂道上れ

奈良ステージ 5万蒲人が声援

【奈良市】第17回全日本選手権自転車競技大会、男子ロードレース。奈良市でスタートした選手たちが、石段を駆け上る。奈良市は、この大会の会場となる。

奈良市は、この大会の会場となる。選手たちは、石段を駆け上り、新緑の中、坂道上りをしている。5万蒲人が声援を送っている。大会は、奈良市で開催されている。選手たちは、石段を駆け上り、新緑の中、坂道上りをしている。5万蒲人が声援を送っている。大会は、奈良市で開催されている。

●奈良日日新聞
5月18日(火)

- 奈良日日新聞
5月18日(火)

Italy's Salerno captures Stage 2 of Tour of Japan

Italy's Giovanni Savini made the podium once again by winning Stage 2 of the 1991 Tour of Japan. The 36-year-old Italian, wearing a black jersey, is seen in the foreground, leaning forward on his handlebars, pedaling hard. Behind him, several other cyclists in light-colored jerseys are also in motion, following the leader. The race is taking place on a paved road with a yellow sign visible in the background.

- Herald Tribune The Asahi Shimbun 5月18日(火)

銀輪レース、うだつ・町並み疾走

国内最大級の自転車ロードレース「第14回 ツアー・オブ・ジャパン」（自転車月間推進協議会、朝日新聞社など主催）の興業ステージが18日、岐阜市街地を走るスタートから一宮、稲垣まで続いた。

市内の16チーム計94選手が出陣。江戸時代からの防火屋「うだつ」を横たった伝統的な土間に沿って野を連ねる「うだつの上がる町並み」を午前9時15分に出発し、約60キロをバレーした後、レースが始まった。越前川沿いや長尾原19.3kmの山田区界など傾斜に驚かす起伏、7kmのコーナーで、タイムを競った。最後では、坂定する選手たちに観客から声援が送られた。

- 朝日新聞(名古屋)5月18日(火)



●朝日新聞(岐阜)5月18日(火)



●日刊スポーツ(東京&札幌&沖縄)5月19日(水)



●読売新聞(岐阜)5月19日(水)



●日刊スポーツ(大阪&名古屋&北九州)5月19日(水)



●朝日新聞(東京&札幌&名古屋&北九州)5月20日(木)



●Herald Tribune The Asahi Shimbun 5月20日(木)



●朝日新聞(大阪)5月20日(木)



●岐阜新聞5月19日(水)



●朝日新聞(長野)5月20日(木)



●日刊スポーツ(東京)5月20日(木)



●南信州新聞(飯田)5月20日(木)



●南信州新聞(飯田)5月21日(金)



●南信州新聞(飯田)5月20日(木)



●南信州新聞(飯田)5月21日(金)



●朝日新聞(静岡)5月22日(土)



●日刊スポーツ(東京)5月22日(土)



●朝日新聞(大阪)5月23日(日)



38歳福島、2位
「一気のスピード」
「一気」のスピードで、一気に2位に躍り出た。福島は、このレースで、これまでの経験を活かし、スタートから一気に加速し、2位に躍り出た。このレースで、福島は、これまでの経験を活かし、スタートから一気に加速し、2位に躍り出た。

●朝日新聞(東京&札幌)5月23日(日)



38歳福島、2位
「一気のスピード」
「一気」のスピードで、一気に2位に躍り出た。福島は、このレースで、これまでの経験を活かし、スタートから一気に加速し、2位に躍り出た。このレースで、福島は、これまでの経験を活かし、スタートから一気に加速し、2位に躍り出た。

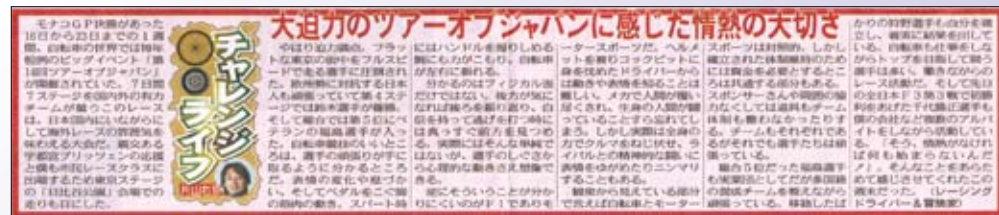
●朝日新聞(名古屋&北九州)5月23日(日)



●Herald Tribune
The Asahi Shimbun
5月24日(月)



●日刊スポーツ(東京)5月24日(月)



●東京中日スポーツ5月27日(木)



●日刊スポーツ(東京)5月23日(日)



●朝日新聞(大阪)5月24日(月)



●朝日新聞(東京&札幌&名古屋&北九州)
5月24日(月)



●南信州新聞(飯田)5月25日(火)



